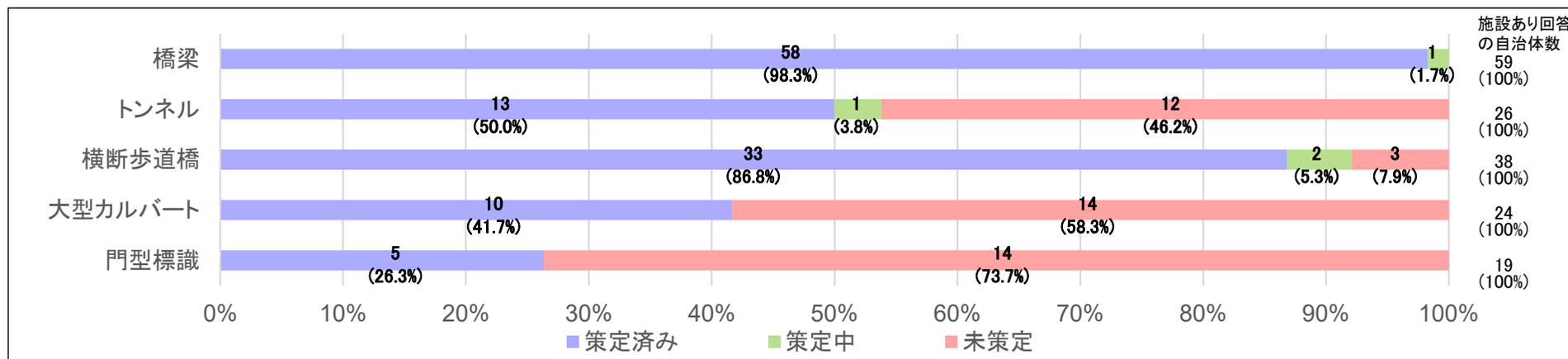


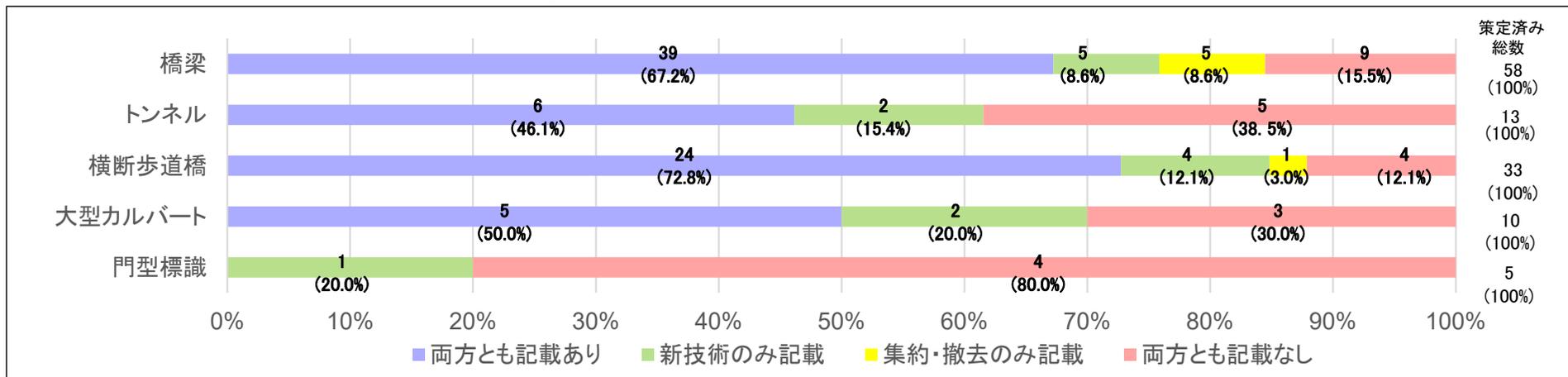
個別施設計画(長寿命化修繕計画)の策定状況

個別施設計画（長寿命化修繕計画）の策定状況は、橋梁、横断歩道橋は80%以上で、トンネル、大型カルバート、門型標識は50%以下の策定済みとなっている。
 新技術、集約・撤去の記載状況については、両方とも記載ありは橋梁、横断歩道橋、大型カルバートが50%以上で、トンネル、門型標識が50%以下となっている。

策定状況 東京都(1)+区市町村(62)=63自治体



新技術、集約・撤去記載状況 (策定済みの数値より)



個別施設計画(長寿命化修繕計画)の策定状況

■ 策定状況

<未策定の理由>

- ◎ 策定予定あり
- ◎ 対象数が少ないかつ、人道で小規模断面のトンネルであるため【トンネル】
- ◎ 対象施設が1箇所のため、個別で作成せず道路管理計画にて管理方針を定めている【門型標識】

■ 記載状況

<新技術のみ記載、集約・撤去のみ記載>

- ◎ 改訂予定あり
- ◎ 集約対象施設が無い【トンネル、横断歩道橋、大型カルバート】
- ◎ 橋梁と合わせて策定及び改定予定【横断歩道橋】

<両方とも記載なし>

- ◎ 改訂予定あり
- ◎ 早急に修繕や集約・撤去が必要となる施設が無い【橋梁、横断歩道橋】
- ◎ 新技術、集約・撤去に関する記載はあるが、要件化となっている短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果については記載なし【橋梁】
- ◎ 小規模橋梁のため新技術導入のメリットが無い【橋梁】
- ◎ 古くからある橋梁であり、生活道路として利用されているため、集約撤去等が難しい【橋梁】
- ◎ 管理施設数や長寿命化計画の策定、補助率や内示率等を総合的に検討した結果【トンネル、横断歩道橋、門型標識】
- ◎ 集約対象施設が無い【大型カルバート】